

能楽資料の宝庫

—法政大学能楽研究所の蔵書紹介—

宮本 圭造(法政大学能楽研究所)



法政大学能楽研究所設立のころ

能楽研究所の正式名称

野上記念法政大学能楽研究所

1947年

野上豊一郎、法政大学総長に就任。

文学部内に能楽研究室を設置。

1950年

野上総長没(享年65歳)。

能楽研究室を拡充して研究所とする方針決定。

1952年

野上記念法政大学能楽研究所発足。



創設前後の活動

能楽研究所の設立趣意書

能楽研究所の創設は「**新日本建設**に一つの礎石を築」き、
「**世界の文化に日本人の立場から貢献**」することを目的とする。
。

①研究上の計画

能楽事典の編纂、能楽資料叢書の刊行

②資料上の計画

文献的資料の収集、能面・衣装・楽器の収集

③普及上の計画

演能会・講演会の開催、新様式能の試演

文献資料の収集

1950年（能楽研究所創設2年前）

大学図書館の予算から総額71万円を計上

（山手線初乗り10円、映画館入場料80円）

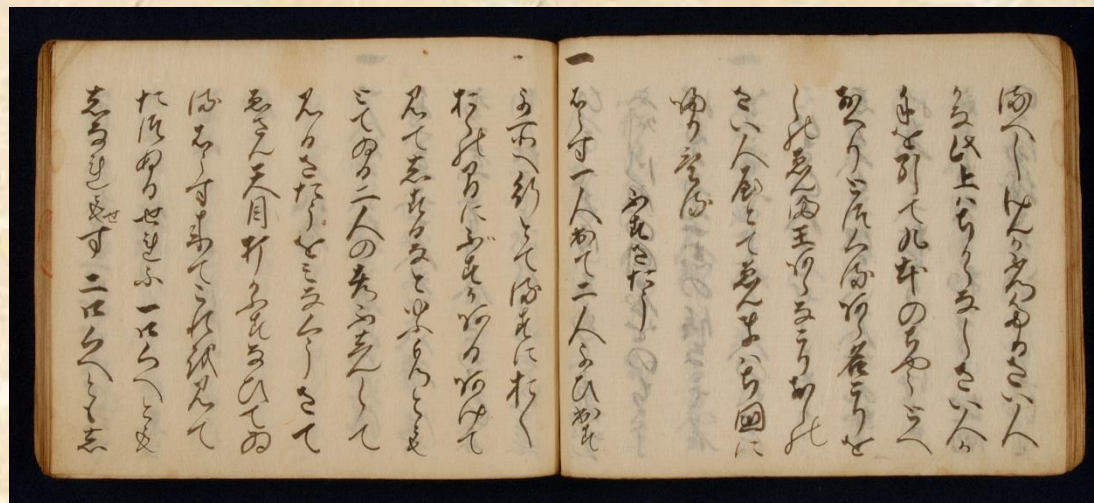
1950年～1953年

日本税制使節団（カール・シャウプ団長）の勧告による富裕税徴収が実施

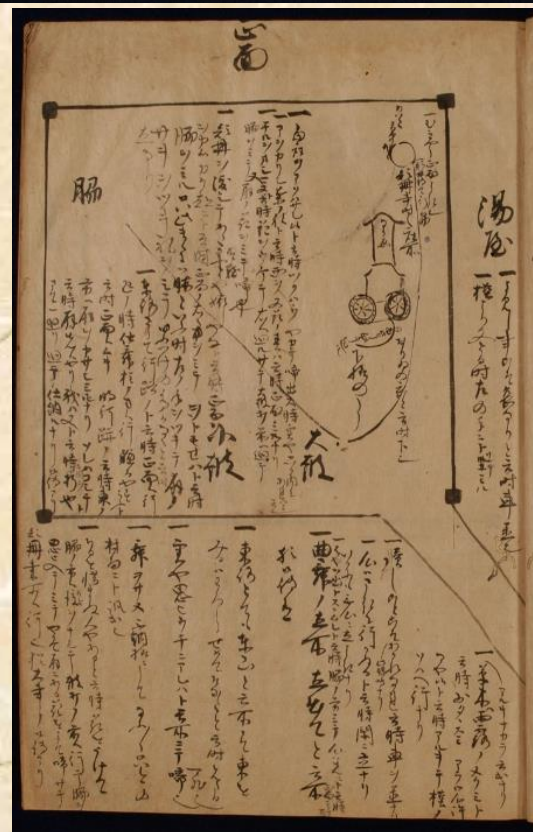
→貴重な古書が数多く市場に流出



伊達家伝来謡本(100冊で25万円)



現存最古の狂言台本
(その他23種類一括で
8万5千円)



本願寺下間少進筆能伝書(その他9種類一括で10万円)→

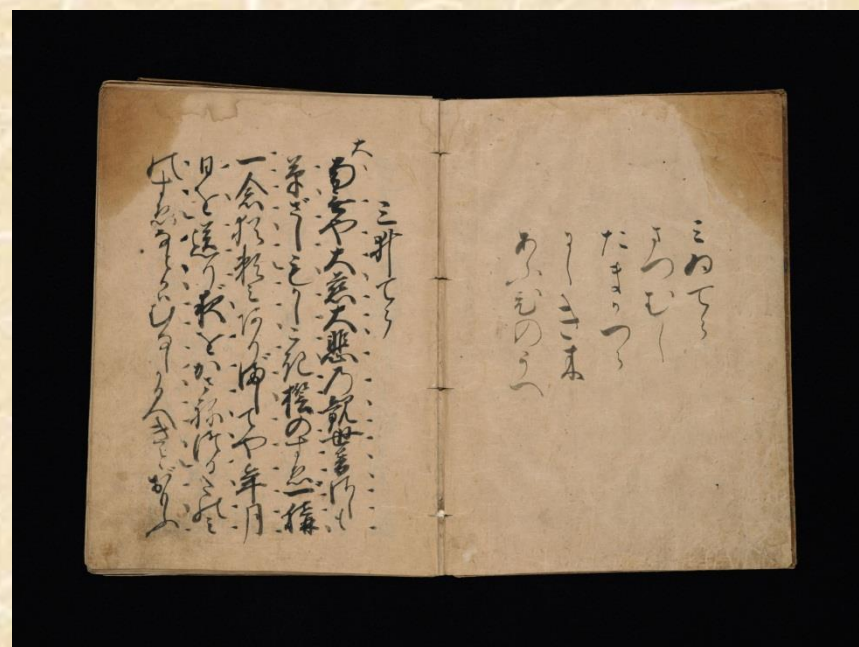
能楽研究所の歩み

- 1963年 金春宗家蔵の世阿弥伝書等を受贈。
- 1971年 麻布校舎3階に移転(当時の蔵書2万冊)
- 1975年 「観世新九郎家文庫」(約650点)寄託(後受贈)。
- 1976年 江島伊兵衛氏の「鴻山文庫」(約1万点)受贈。
- 1977年 鴻山文庫受贈・創立25周年記念「能楽資料展」
- 1981年 富士見校舎に落成した80年館3階に移転。
- 1981年 宝山寺金春家旧伝文書「般若窟文庫」(約2千点)受贈。
- 2000年 BT23階に移転。竣工記念能で「翁」「羽衣」

能楽研究所の貴重資料

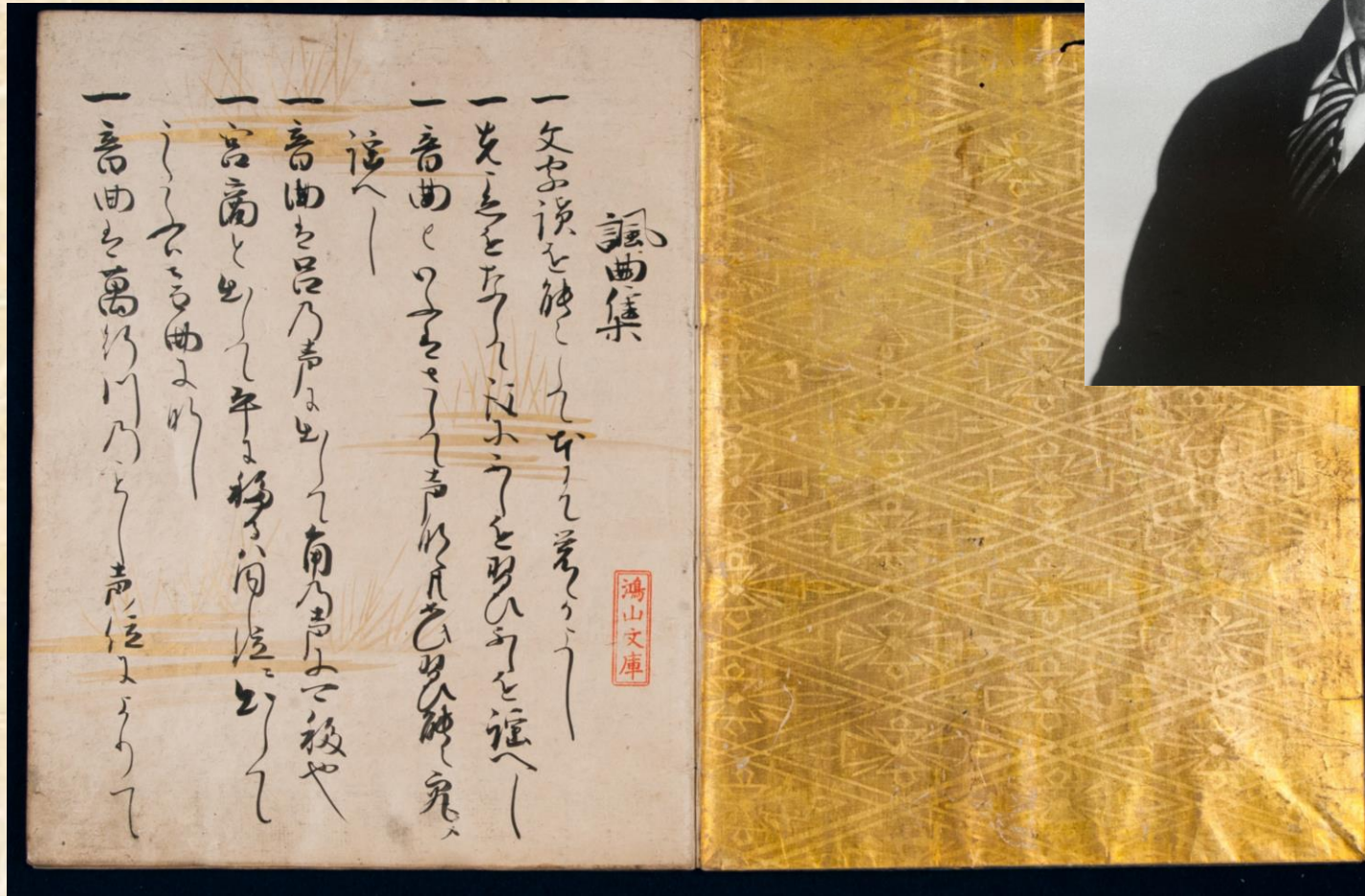
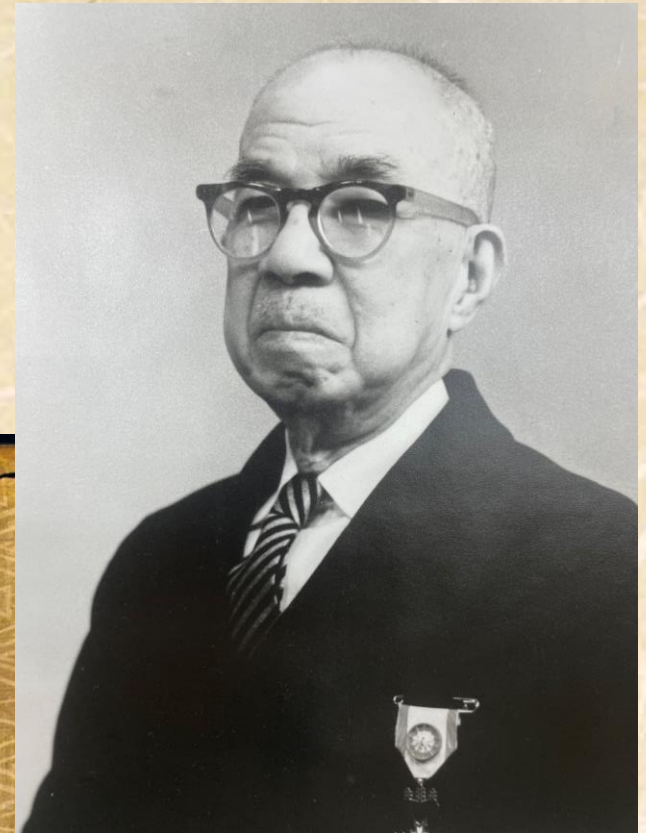
吉川家旧蔵車屋謡本

鴻山文庫蔵 重要文化財



江島伊兵衛 (1895-1975)

「鴻山」文庫の名は「江島」姓に由来



此程よりまゝとす 樂人など
 播磨光とす 得いふ 播磨とす
 也といふ 春さこり 播磨とす
 あり あり
 一首 播磨とす 脇とす 腰とす
 けき せき せき せき せき せき
 あり あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり あり

此程よりまゝとす 樂人など
 播磨光とす 得いふ 播磨とす
 也といふ 春さこり 播磨とす
 あり あり
 一首 播磨とす 脇とす 腰とす
 けき せき せき せき せき せき
 あり あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり あり

舞臺抄

中

書

此程よりまゝとす 樂人など
 播磨光とす 得いふ 播磨とす
 也といふ 春さこり 播磨とす
 あり あり
 一首 播磨とす 脇とす 腰とす
 けき せき せき せき せき せき
 あり あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり あり

世阿弥伝書『二曲三体人形図』
室町時代



小鼓役者宮増親賢画像
戦国時代



織田信長の朱印状（観世新九郎家文庫蔵）

竊學全集

七拾壹

事任南郭

有子而不知

遠也

首



鍾魯齋



紫調小鼓(江戸時代)



紫調小鼓 法政大学能楽研究所観世新九郎家文庫所蔵

紫調小鼓

紫調は將軍から鼓の名人に与えられる。これは観世新九郎豊重が1678年[延宝6年]の江戸城の催しに際して許されたもの。

能楽資料の概要

1 謡本

能の台本

2 謡曲注釈書

能の台本の語釈

3 伝書

能のあるべき姿や役者の心得
をまとめた理論書

4 付(つけ)

能の演じ方を具体的に記したもの。型付・手付。

5 史料

能の歴史に関わる資料。番組・書状など。

6 狂言

狂言に関する資料

7 その他

面・楽器・レコード・写真

野上記念法政大学能楽研究所

能楽資料デジタルアーカイブ

[HOME](#) < [データベース](#) < 能楽資料デジタルアーカイブ

分類一覧

以下の分類からお選びください。

1. 謡本
2. 謡曲注釈書
3. 能楽伝書
4. 付
5. 史料
6. 狂言



古活字版『謡抄』守清本
(法政大学鴻山文庫蔵)

[HOME](#) < [データベース](#) < 能楽資料デジタルアーカイブ

能楽研究所が所蔵する最大のコレクション

謡本（能のうち謡部分を中心とする謡曲の台本）
室町後期から現代にいたる約1700種、
1万8000冊

卷子本・冊子本

写本・古活字本・整版本・石版刷本

絵入表紙本・雲母刷表紙本

室町後期観世元頼節付謡本



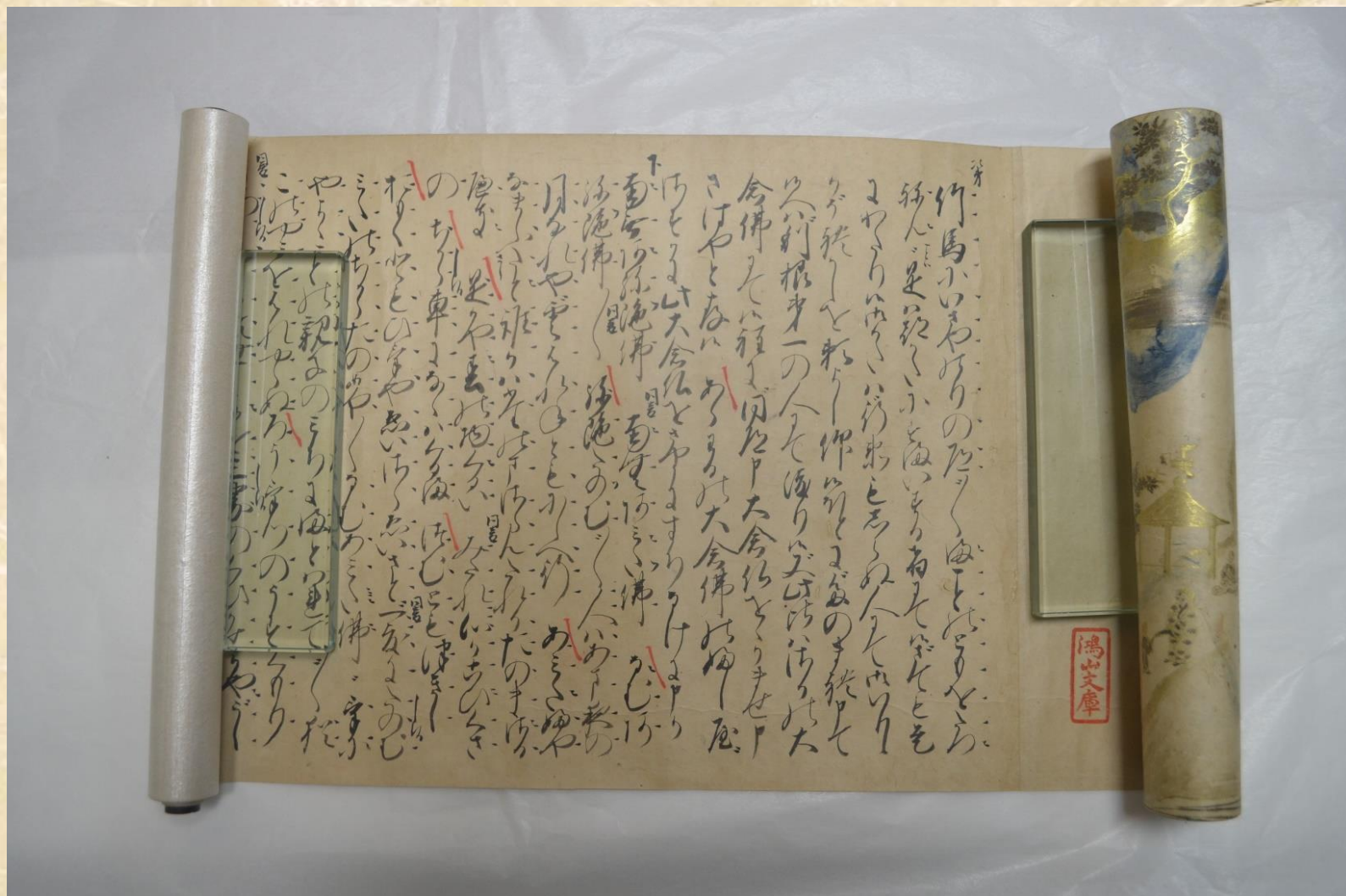
あはれにうめをいふは

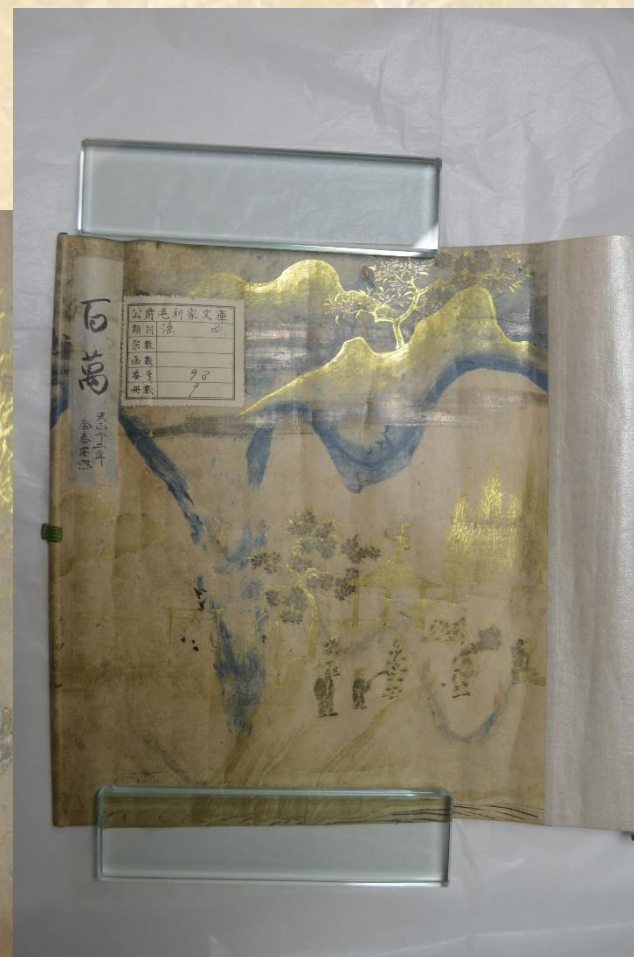
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙

江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙

江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙
江戸の信玄丸の書紙

安土桃山期金春安照節付謡本





百菊

金卷

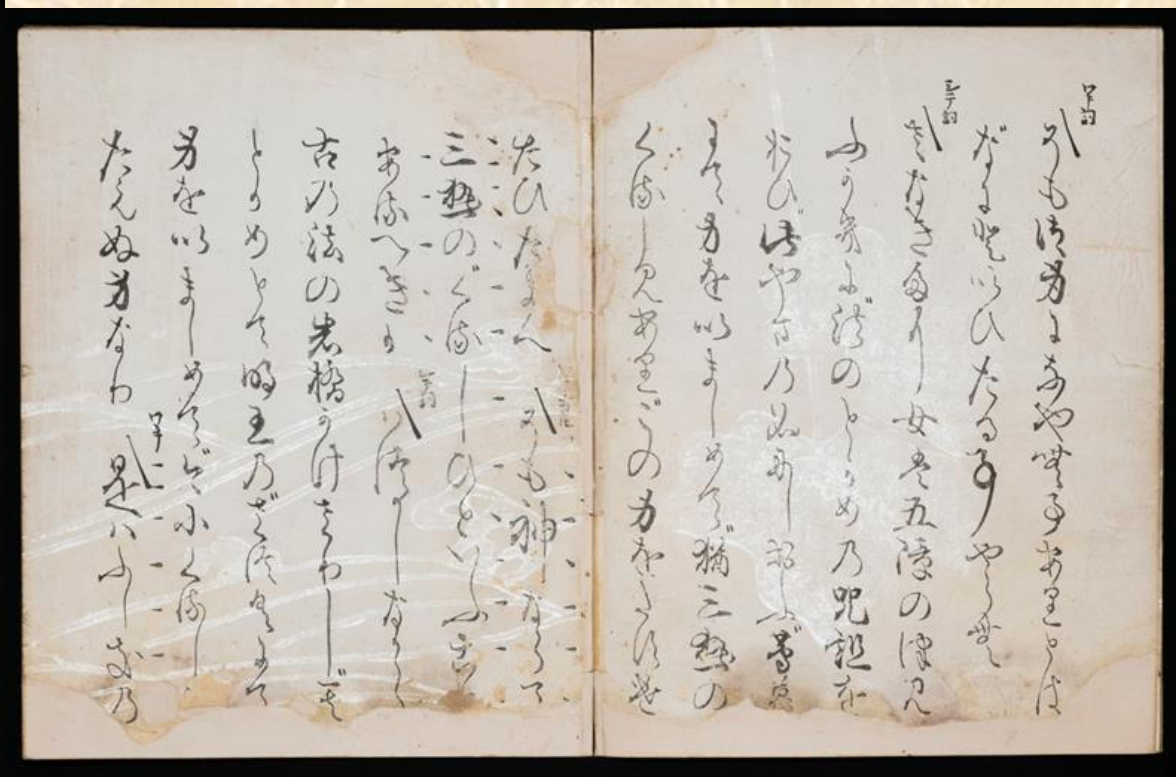
公府志利家文庫	
類別	源
宗職	
海職	
春年	90
冊數	7

江戸初期観世黒雪筆謡本





江戸初期刊古活字版光悦謡本
(嵯峨本謡本)



遠慮作備し図



松こそ目物とかつていれ実やあきても
 てもとらやうふよにもあつたなとて
 上らふる君のめくそそ有るまじく
 ゆらふる君のめくそそ有るまじく

氷室

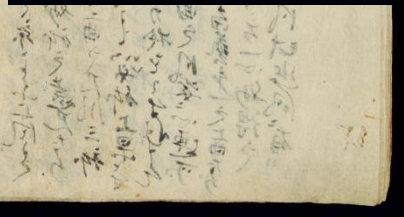
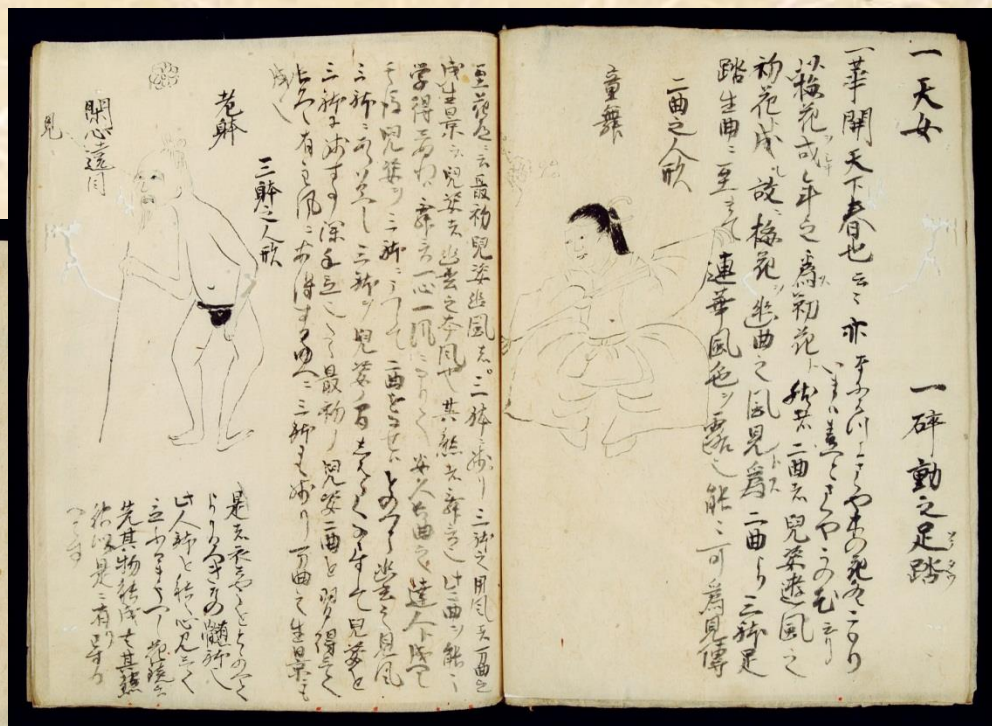
社むらて結ひあはれ氷室を春より
 の風やとくんと清いれ秋乃まは来る
 去あににやうききゆうさひなり
 てや春よまたききゆう水月よあき
 ちやうぬ雪乃氷供のちやうぬ

哥麿景一



能楽研究所が誇る伝書のコレクション

二曲三体人形図



世阿弥『風姿花伝』

風姿華傳

夫申樂延年なりこゝろわき其源と
あつたふ武俳をふりおろし武祿
代を傳へしとも時より代をさる
わかれ其風成るやふなり及む
を此万人のそわせぬおのれ天皇の
宮に重徳太子奈河勝より伝へて天下

金春禪竹『六輪一露之記』

破和合識相、滅相續心、於現法身、智純淨
故起信論之文又いふなり

第六之輪



第六之輪、無主客、位向去却来、又本
壽、怖、滅

第六、又、取初無相之一理、空、絶跡、湛、
巨、言、遣、而、重、遣、無、有、可、老、處、空、而、又
空、不、見、可、空、物

一露、不、滿、空、色、二見、自在、無、碍、一塵、



『八帖本花伝書』



能役者の肖像

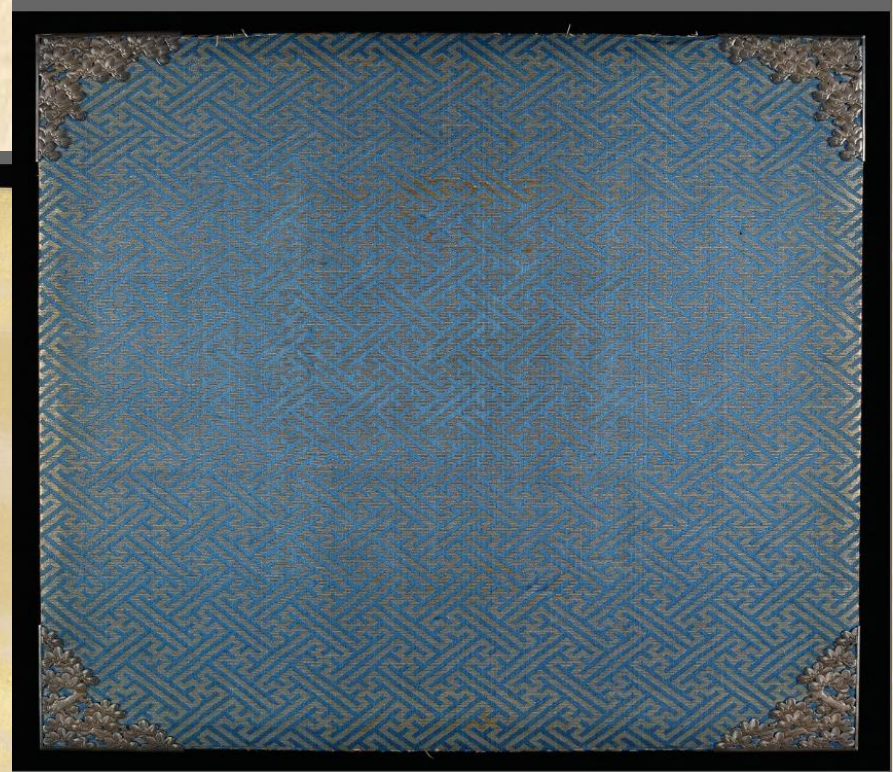
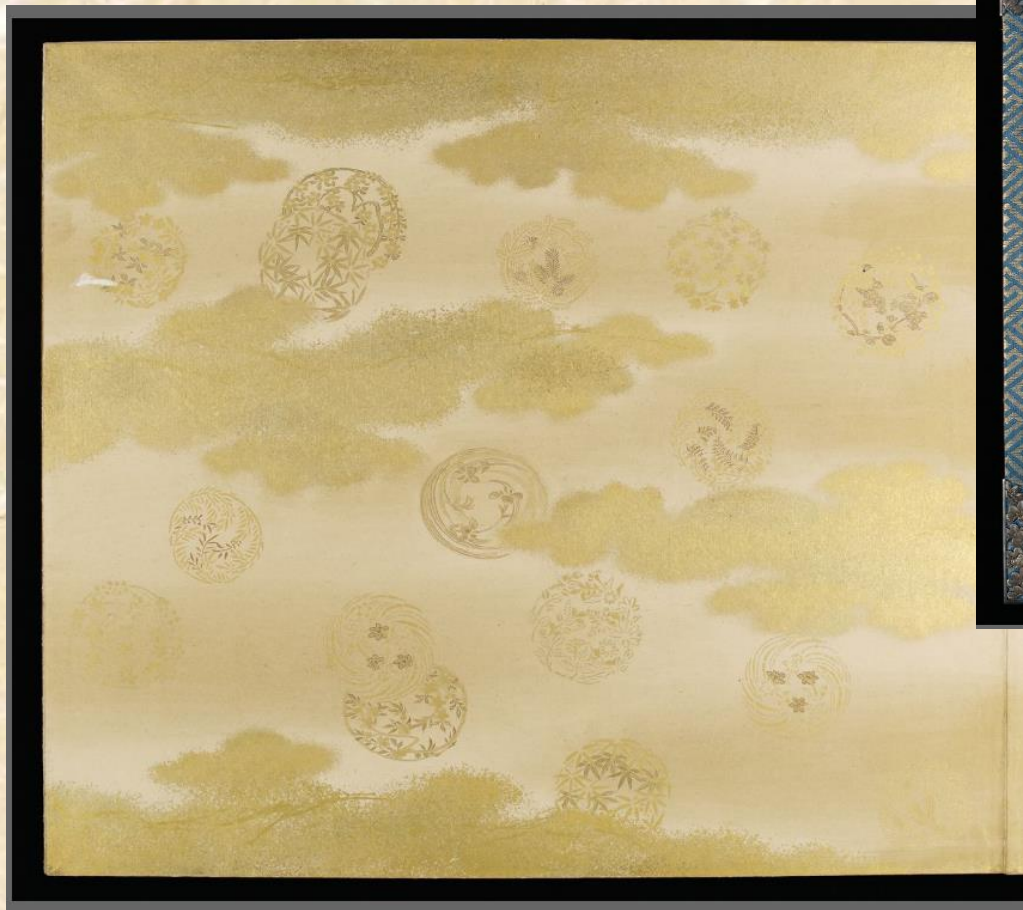
宮増弥左衛門親賢画像



森田庄兵衛光広画像



『能御絵鑑』(江戸中期)





張象



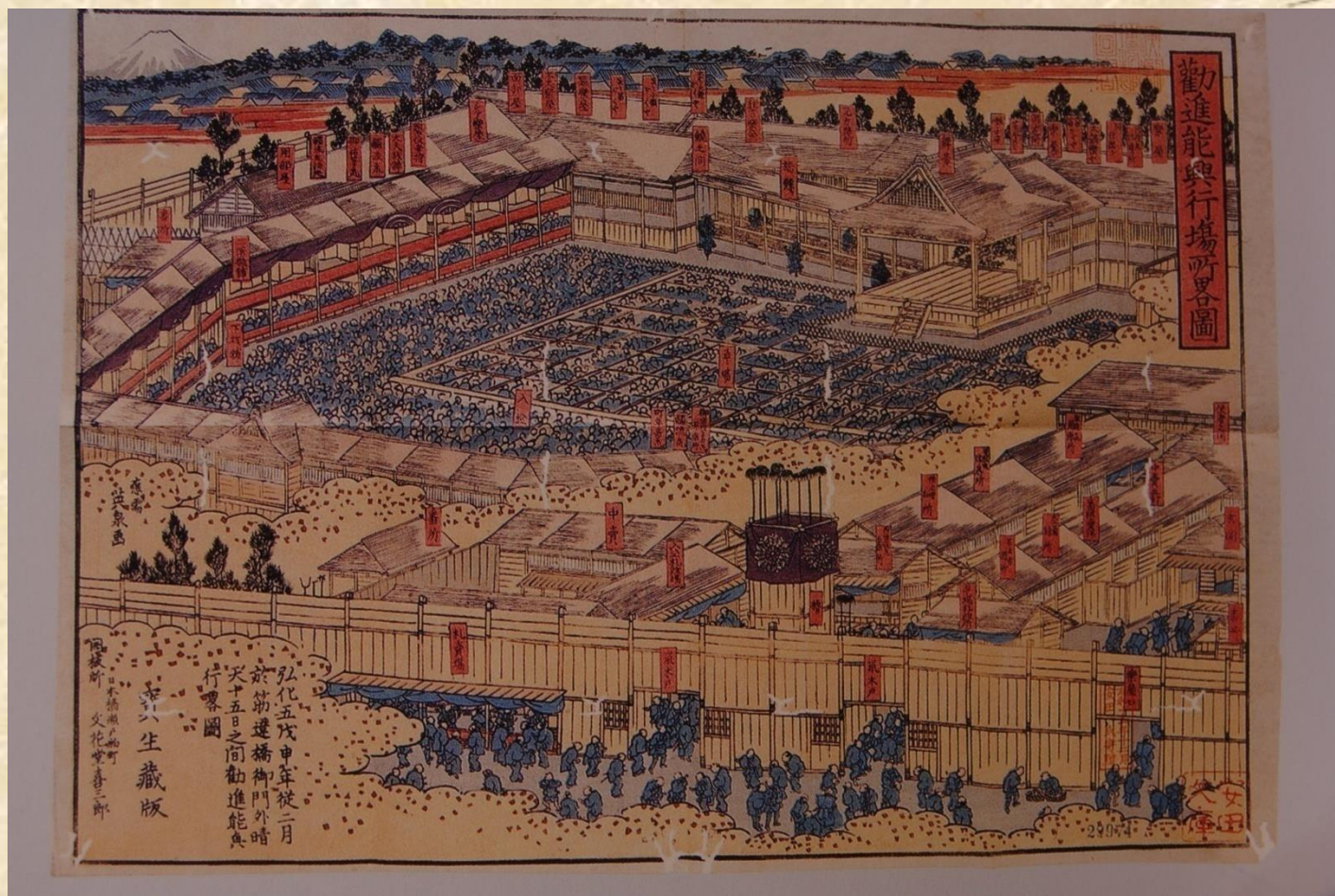
唐妃



『能楽図絵』(明治末刊)



能の興行を描いた資料



齋藤月岑『弘化勸進能絵巻』

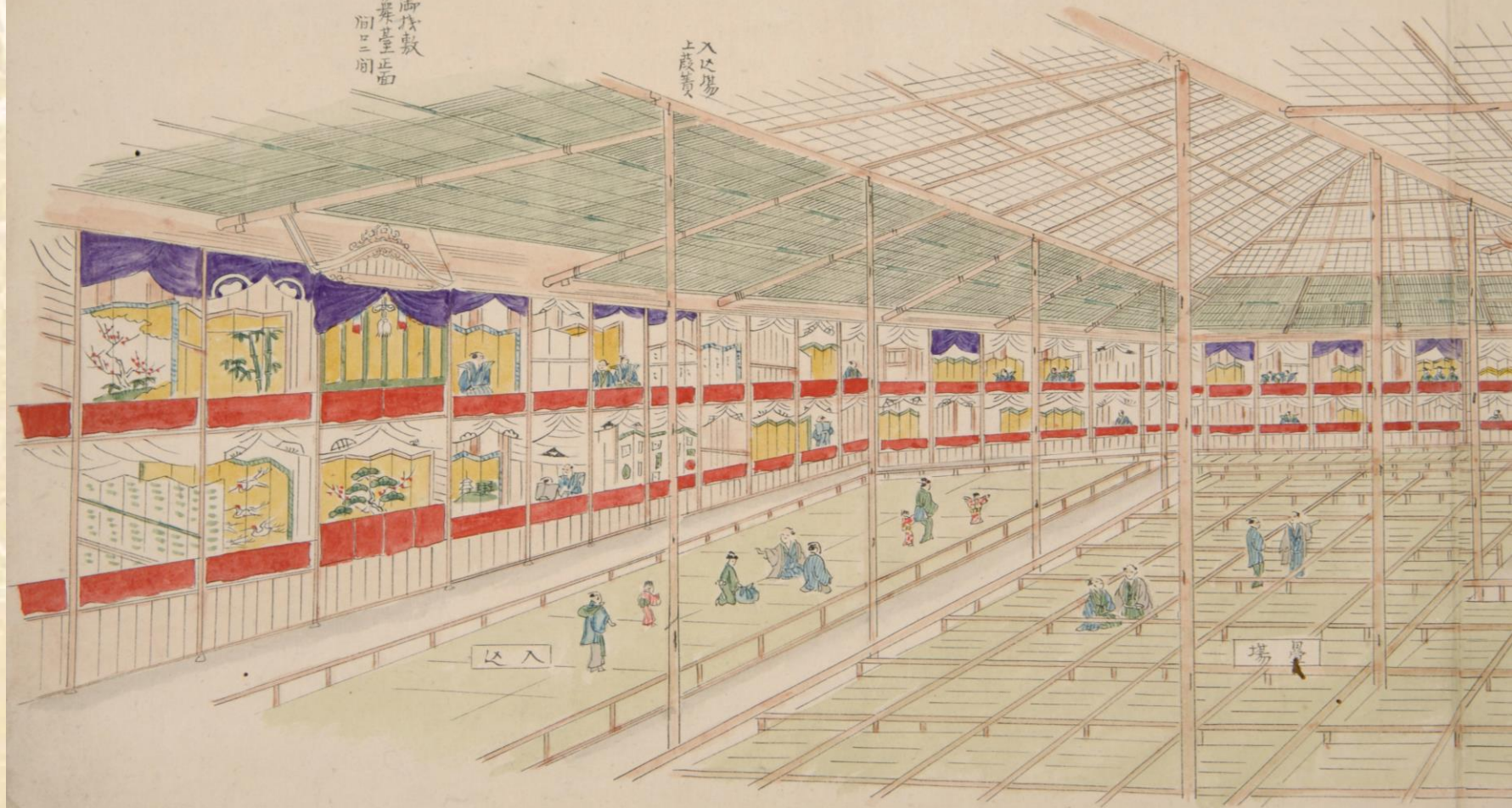


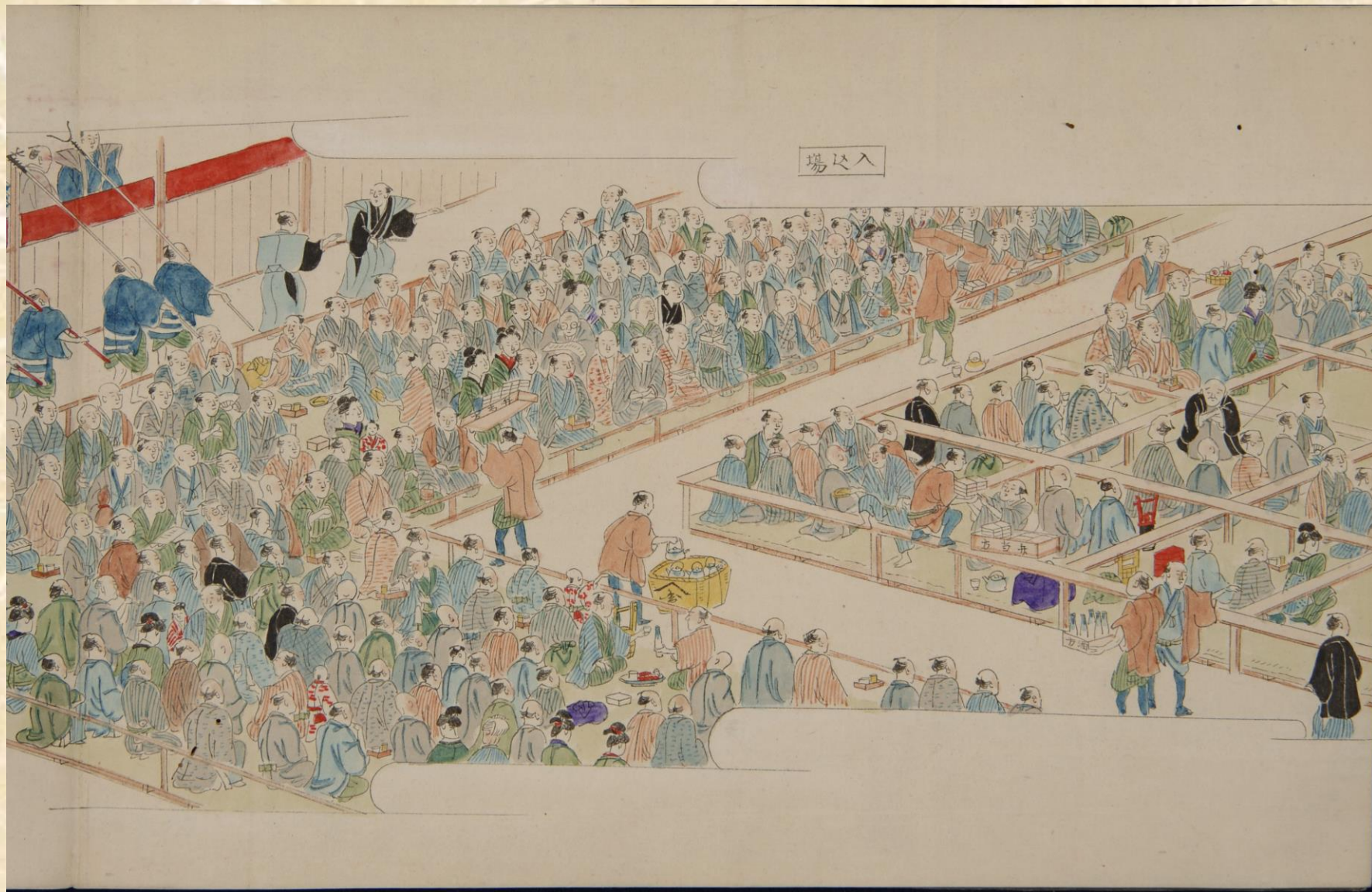
御成敷
舞臺正面
側三間

入込場
上段

入込

場

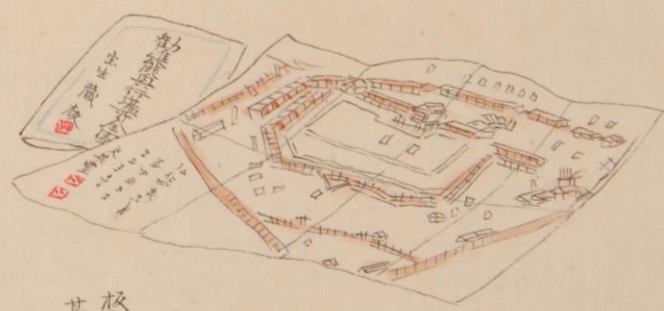




富澤町 源三湯店 嘉永
明神表門前土廊王座幸止
湯島徳源院門前土廊店
安土衛

興行場繪圖 價廿八元

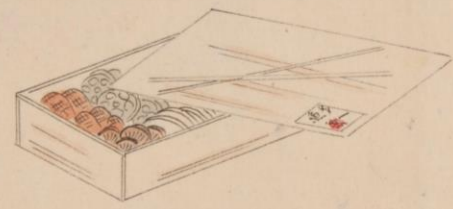
十五日分番組
一冊
價銀二匁
一枚スリ一日分ノ
モノ價十六匁



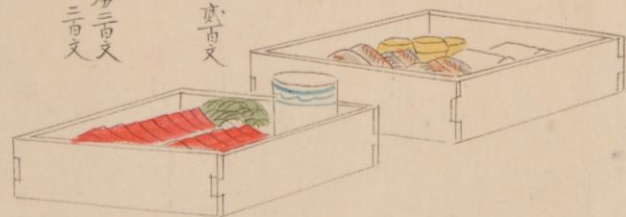
板元瀬戸物町文華堂喜三郎
其外坊間ノ書肆コレ佳フ

同彩色摺 價六十四匁
漢齋英台館筆

價壹匁又
亦匁五分



價貳百文



口取ノ入分三百文
針者同 二百文

價三百文

皮包
二百文



價
廿四文



價土壹匁又七十文
紙袋五十文



天保七年の名古屋大野舞台での能興行の様子を描く



台湾での能楽上演に関する資料



アメリカでの能楽上演に関する資料



蛛 蛸 土

樂能納奉式佛入院別寺願本東

日五月九年五拾正大

會曲謠加南

		實生會秋の大會	
大東亞戰爭決戦第三段階に入り神國一度發するや燃たる神兵の勇氣は神風を拂ひ起し既に次動轉の事は切つて煙るれ早くも台灣海峽空戰に文比島海面戰に相次ぐ艦隊は舉り御深威の一下士氣壯々然し軍國主義の完成無きは終極の目的を達せざるの秋各位該等諸君の四本寶貨として只實地訓練を盡すの體三位の絶大勝利の御慶賀を得て榮光溢ちたる「實生會」の三週年を更なる一歩、今や活發に進發せんとする目出度い機會實生會の更なる一歩、今や活發に進發せんとする目出度い機會を慶祝して折角有花臺を清涼の秋の記念曲禮大會を左の通り催す事と相成候阿幸萬禱御座願同好諸士多數御訪ひ合せの上御來會下さい度御案内申上候			
張良	宮良福康	大越健三	
八島	時田信義 木村信義	伊藤茂太郎	
吉野靜	松島權男	井上善兵衛	
半菰	横田今朝	毛利勝一	
正尊	北島繁茂 高島多志左 磯山五右衛門 八文太	島谷文雄	
俊寛	田村小一 芳部重隆 高山武平	石橋玄武郎	
加茂物狂	中山直治	平松兵庫	
末廣	上野正文	伊藤達三郎 多々良達三郎	
土蜘蛛	杉本久太郎 一原孝 村田中 岡田仙吉 古澤浩	今西壽治	
望月	重松爲治 三村富貴代	小田東作	
祝言			
海ゆかば			
日時	昭和十九年十一月十九日午前十時始メ (第廿日曜日)時間厳守		
會場所	上海神戶民生館		
費用	不要(食費は各日の丸弁當持参)		
	體力増強に マストゲン錠		
	上海實生會		

謡曲レコード



1942年日本紙芝居教育協会制作 「謡曲物語接待」



Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

Is a vertical strip on the right side of the page, containing several small illustrations and handwritten text in Japanese. The text is written in a cursive style, and the illustrations are simple line drawings.

こんな能楽資料も





<https://nohken.ws.hosei.ac.jp>